

登山者における環境配慮行動と日常生活場面での環境配慮行動との関連

山内 智輝 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)
指導教員 橋本 和俊

キーワード：登山者，環境配慮行動，日常生活場面

1. 序論

近年，私たちの周りでは地球環境問題が大きく取り上げられ，富士山などの百名山の過剰利用も問題となっている。太田³⁾は山岳環境保全のためには，登山者の意識の向上だけでなく，登山道や山小屋の整備，状況によっては入山規制などの対策が必要であり，登山者を配慮行動へ誘導する必要があると述べている。一方，環境白書¹⁾は日常生活においても衣食住の場面からの環境負荷が，今日の環境問題の原因となっていると述べられている。松下²⁾は，登山経験が豊富な方が登山道に配慮した態度や行動をとることを明らかにしている。しかし，日常生活場面への「一般化」やその関連について明らかにされていない。そこで本研究は，登山者における環境配慮行動と日常生活場面での環境配慮行動との関連について明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

【研究対象者】2017年11月3日，4日，5日に伊吹山上野ルートの登山口を使用していた，男性102名と女性32名の計134名を対象とした（有効回答率90.54%）。

【調査方法】登山での環境配慮行動アンケートは，太田³⁾の「登山者の山岳環境配慮行動の規定因について」で使用されていた登山者による環境配慮行動アンケートを用いた。日常生活場面での環境配慮行動アンケートは，環境省¹⁾の持続可能なライフスタイルをつくる計画書を参考に筆者が独自で日常生活場面での環境配慮行動アンケートを作成し，用いた。

3. 結果と考察

1) 日常生活場面での環境配慮行動の因子分析
探索的因子分析の結果，「3R行動因子（ $\alpha = 0.85$ ）7項目」，「環境汚染行動因子（ $\alpha = 0.78$ ）6項目」，「省エネルギー行動因子（ $\alpha = 0.70$ ）4項目」の3因子17項目が抽出された。

2) 登山回数の少ない群と多い群で比較したところ，日常では「3R行動」と「省エネルギー行動」において有意差が認められた。登山では「環境配慮行動」「環境認知」「環境配慮態度」に有意差が認められた。登山などの自然体験が豊富なほど日常でも登山場面においてもその環境配慮

行動に及ぼす影響があり，有意差が認められたと推測する。

3) 環境への関心度の低群と高群で比較したところ，日常でも登山でもすべてにおいて有意差が認められた。環境問題に対して関心を持ってもらうことが環境問題を抑制する第一歩として示された。

4) 倫理観（LNT得点）の低群と高群で比較すると，日常でも登山でもすべてにおいて有意差が認められ，日常場面および登山場面においても環境に対する責任を持ち行動していることが考えられる。

5) 登山者における環境配慮行動と日常生活場面での環境配慮行動とは関連があることが考えられる（表1）。登山での環境配慮行動において得点を高くつけている人は，日常生活場面での「省エネルギー行動」を行っていることがこの結果から推察できる。

表1 登山者における環境配慮行動と日常生活場面での環境配慮行動との相関関係

		3R行動項目	環境汚染行動項目	省エネルギー行動項目
	M(SD)	17.82(4.92)	16.09(3.98)	12.88(2.21)
環境配慮行動項目	27.82(4.20)	.161	.429 **	.580 **
環境認知項目	21.61(3.05)	.334 **	.106	.306 **
環境配慮態度項目	7.61(1.33)	.343 **	-.027	.291 **
環境配慮行動評価項目	26.08(3.13)	-.037	.174 *	.291 **

** : $p < .01$ * : $p < .05$

4. まとめ

本研究では，登山者における環境配慮行動と日常生活場面での環境配慮行動との関連があることが明らかになり，登山時の環境に配慮した行動を行っている人は，日常生活場面でも環境に配慮した行動を行っていると言える。今後の課題として，伊吹山登山者のみならず，他の山の登山者にも調査する必要がある。

主要参考・引用文献

1) 環境省 第1節持続可能な社会をつくるライフスタイル計画書

<https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h27/html/hj15010401.html> (2018/2/9アクセス)

2) 松下侑司 (2010) 登山者の山岳環境と登山道に対する配慮態度・行動に関する研究. 卒業研究

3) 太田和利(2007) 登山者の山岳環境配慮行動の規定因について—南アルプス・仙丈小屋における登山者意識調査から—野外教育研究 Japan Outdoor Education Journal 10-2:1-12